

# ● タイマー、コントローラ施工時の電源極性について

タイマー、コントローラの施工における電源側端子台の接続は、**電源極性を必ず取扱説明書や本体の表示に従って接続**してください。  
(当社製タイマー、コントローラ、全種類共通事項)

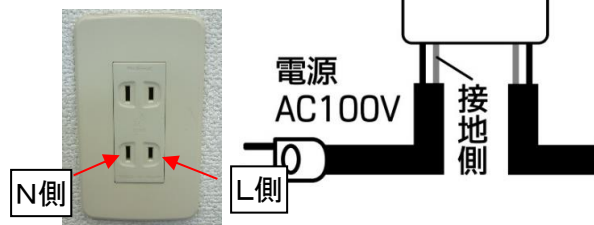
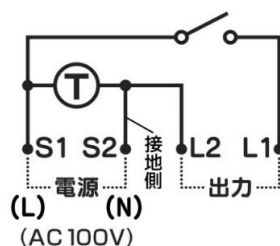


活線側 (L)                      接地側 (N)

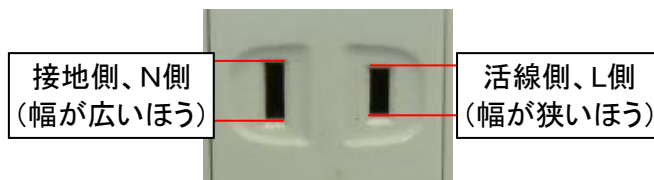


検電器 (検電テスタ、検電ドライバなど)

タイマー、コントローラの電源側端子台  
左側: 活線側 (L) ⇒ 検電器のチェックランプ **点灯**  
右側: 接地側 (N) ⇒ 検電器のチェックランプ **消灯**



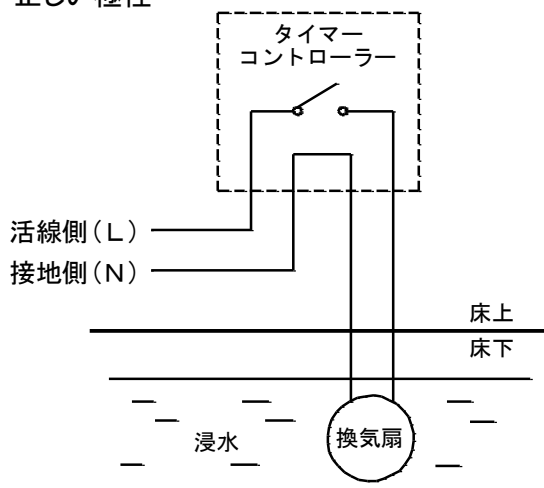
基本的にはコンセント差込口の幅が広いほうが接地側、狭いほうが活線側になっています。  
(※注意: 逆にになっている可能性もあります)



・基本的にはコンセント差込口の幅が広いほうが接地側、狭いほうが活線側になっていますが、  
逆にになっている場合や、プラグの差し込み方向によっても極性が入れ替わるため、最終確認として、  
**必ず、タイマー、コントローラの電源側端子台にて検電器による極性確認を行ってください。**

間違った極性では浸水時、換気扇停止中(浸水センサー感知およびタイマー時間外や停止モードの場合)でも配電盤漏電ブレーカーが動作することが考えられますのでご注意ください。

正しい極性



間違った極性

